

事務事業名		中小企業融資あっせん事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																								
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間																									
	施策名	0 3 にぎわいあふれる商業・観光の推進		区分																									
	基本事業名	0 1 活気あふれる商業地の形成支援		単年度繰返																									
根拠法令		大船渡市中小企業資金融資あっせん条例、大船渡市中小企業資金融資あっせん条例施行規則		※期間欄に開始年度を記入																									
所属	部課名	商工港湾部商工課		【開始年度】																									
	課長名	鈴木 宏延		-																									
	係名	商工係	電話	0192-27-3111																									
	担当者	新沼 大介	内線	111																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分																									
<p>市内各金融機関・岩手県信用保証協会と協力し、運用している事業。 各金融機関に融資資金を預託し、市内中小企業者への融資あっせんを図る。また、一定割合の利子・保証協会の保証料を補給することにより、中小企業者の負担の軽減を図る。</p> <p>主な業務内容 ①各取扱金融機関へ原資の預託、②融資実績の報告、③利子補給・保証料補給、④預託金の返還 〔保証料・利子補給の内容〕 ・保証料 市融資制度利用者の保証料を、岩手県信用保証協会に全額補給。 中小企業者負担は0% ・利子 市融資制度を利用した際の利率の1.5%を市が負担し、各融資機関に補給。 中小企業者負担は、残りの利率分(3年以内1.2%、3年超10年以内1.4%)</p> <p>事業費は、預託金及び利子補給額・保証料補給額(預託金については年度末に返還)</p>				A 政策事業																									
<p>全体計画(※期間限定複数年度のみ)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="10">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0		
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																										
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計(A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
		延べ業務時間																											
		人件費計(B)	0																										
		トータルコスト(A)+(B)	0																										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
①各取扱金融機関へ原資の預託 ②融資実績の報告 ③利子補給・保証料補給 ④預託金の返還		ア	原資預託先金融機関数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同じ		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称	
市内中小企業者		カ	市内事業所数(経済センサスより)
		キ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
市内中小企業の資金繰りを支援し、経営状況を安定させる。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	
中小企業の振興が図られる。		サ	融資あっせん金額
		シ	保証料補給額
		ス	利子補給額

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	292,029	292,005	292,005	292,005	292,005	292,005	
		一般財源	千円	149	144	144	144	144	144	
	事業費計(A)	千円	292,178	292,149	292,149	292,149	292,149	292,149		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	
		人件費計(B)	千円	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	296,578	296,549	296,549	296,549	296,549	296,549	
⑤活動指標		ア	箇所	6	6	6	6	6	6	
⑥対象指標	イ									
	ウ									
	カ	事業所	2,471	2,151	2,151	2,151	2,151	2,151		
	キ									
⑦成果指標	ク									
	サ	千円	376,530	800,773	658,430	800,000	800,000	800,000		
	シ	千円	11,968	13,189	13,592	20,000	20,000	20,000		
	ス	千円	20,501	16,716	17,913	25,000	25,000	25,000		

事務事業ID	0400	事務事業名	中小企業融資あっせん事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 大船渡市中小企業資金融資あっせん条例 昭和38年(1963)3月27日施行、
 大船渡市中小企業資金融資あっせん条例施行規則 昭和38年(1963)4月1日施行に伴う。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 近年においては、融資実行までのスピード、またそれとともに事務手続きの簡略化も求められている。実際には、以前までは申請された案件を一件一件、融資あっせん審査委員会(以下「審査委員会」)に諮問し決定していた時代があったが、県内他市でそのような形態をとっているところはもう少なく、融資金融機関と岩手県信用保証協会にある程度の決定権を与えている自治体が多い。また、審査委員会そのものを設置している自治体が減ってきている。
 当市においても、平成18年度に融資あっせん審査委員会を廃止し、金融機関と信用保証協会の協議が整った案件については、融資決定することになっている。
 平成28年に市内金融機関、商工会議所、信用保証協会等と協議を重ね、29年度より制度の見直しを図った。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 岩手県信用保証協会から市制度融資の利用にあたり、保証金額の上限に達している市内事業者が数件あり利用条件から外れたため、上限を引き上げてもいいのではないかと意見があった。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 市内中小企業の資金需要に資することにより経営が安定し、市内経済の活性化に繋がる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 中小企業者は容易に資金調達できる環境にないことが多く、行政の支援が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 中小企業者のための融資制度であり、対象範囲を市内中小企業者としているため適切である。また、意図についても、中小企業者の経営状況の安定化を目的としているため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 各金融機関より継続して融資実行報告があり、現状で成果が上げられている。 融資あっせん審査委員会も廃止したため、事務手続きが迅速化・簡略化され、利用しやすい制度になった。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 当該事業は、中小企業者の負担は、利子は利率の1.2%又は1.4%、保証料は無料と手厚い条件となっており、経営環境が厳しい中小企業者にとって必要な制度である。廃止した場合、小規模な中小企業者ほど更に負担を強いられる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 当該事業は継続して利用されており、市内中小企業者の安定した経営を支援している。今後においても利用は見込まれるため、減額することは事業者の経営円滑化を妨げる可能性がある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 融資あっせん審査委員会を廃止し、事務手続きの効率化を図っており、融資あっせんに関連する最低限の事務を行っているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 対象を市内全域の中小企業者としている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
1 現状維持	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	当該事業は中小企業者にとって有利な条件であり、市内各金融機関や岩手県信用保証協会と情報交換を図りながら、周知を図っていく。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	地元中小企業の経営を支援する有効な事業であり、特にも長期化するコロナ禍や物価高騰等の影響により厳しい経営環境が続いていることから、市内各金融機関や岩手県信用保証協会等関係機関と連携し、継続して取り組む必要がある。